

インド洋における国際共同研究CINDY2011集中観測開始 海洋地球研究船「みらい」等からのリポートを掲載

CINDY2011...Cooperative Indian Ocean experiment on intraseasonal variability in the Year 2011.

インド洋で発生し、太平洋まで東進する東西数1,000km規模の雲群とそれに伴う大気の流れを発見者にちなんでMJO (Madden-Julian Oscillation)と呼びます。このMJOは熱帯だけでなくエルニーニョやモンスーン、熱帯低気圧の発生などを通して日本を含む中・高緯度の天候を左右する現象です。

JAMSTEC研究者が発案したこのプロジェクトは、世界10カ国以上の研究機関が参加の意思表示をし、500名を超える研究者が参加して、インド洋でなぜそのような巨大雲群が発生するのかを調べることになりました。



CINDY2011のサイトはこちらから



シンガポールを出港する「みらい」船尾から